

いわき民報
本紙は、昭和二十三年十一月六日創刊。
発行所：いわき民報社
電話：二二九

東西對抗軟式野球大会

少年、青年、壮年の三チーム建てて
来る七日のレクリ運動の一環として
初日の市内

平放送局の昇格に拍車

橋本参院議員と金澤郡山局長来平
中放送局分局の本局昇格運動
あると云ふらしい情報ながら

炭鏡映畫

團體は勝利の基礎
三日常盤振出しに現地撮影開始
炭鏡では、目下常盤の

眼鏡専門 各眼科指定
玉目 電話 910

増築等夢にも及ばず

収容増加になやみぬく刑務所
去る二十七日、五十七名定員
の倍半のレコードを記録した

川徳親分収容さる

きのう取調への一段落と共に
去る二十日、市署に検察
等が主なるものであった

炭鏡女子排球組合

七日磐女高校で開演に決る
下小中學校教職員一千四百名
全部に對し結核検査を中心

濱通労働基署

監督官會議
平労働基署では、六日午前十時
から濱通り労働監督官會議

女だてらに空巢常習

白晝強盗の狂言かいた例の人妻
去る八月白晝強盗に押入られ
た狂言の訴えで化の皮をは

山寶丸辛くも救助さる

三日夜九時ごろ小名濱沖合
南方十五マイルの海上で小名
濱丸が暴風雨に押入られ

移轉開業お知らせ
佐藤電気商会
平市子路小路二四電五九三

内科 緒方醫院
久之濱町仲町
電話一八五番

内科 新妻醫院
久之濱町北町
電話一七番

自由販賣
白萩酒店
電話四四番

火鉢入荷
武田陶器店
平市二丁目二二九

